

# 英語科学習指導案

指導者 齊 藤 直 生

1 日 時 令和元年 10 月 8 日 (火) 6 校時

2 学 級 1 年 5 組 男子 17 名 女子 15 名 計 32 名 西校舎 3 階 1 年 5 組教室

3 主 題 PROGRAM7 The Wonderful Ocean (Sunshine English Course 1)

## 4 主題について

本単元は、中学校学習指導要領外国語編の目標「(3) イ話すこと(ア)関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。」を学習できると考える。内容には「(1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (ア) 疑問文のうち、助動詞で始まるものや or を含むもの、疑問詞で始まるもの。(ウ) 文法事項 a 代名詞」と疑問文と人称を表す主格や所有格、目的格が取り上げられている。また、「(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (エ) 話すこと [やりとり] (イ) 日常的な話題について、伝えようとする内容を整理し、自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動」ができる単元である。

本学級の生徒の男女仲は良好で、ペアワークやグループでのコミュニケーション活動にも積極的に取り組む雰囲気がある。グループでの練習の中で共に考えアドバイスし合うことを通し、更に学びを深め、新しい考えに気付く機会としたい。

本時の言語材料としては、疑問詞 who と when, 人称代名詞の目的格 him と her の用法を活用して復習する。題材としては、北海道釧路沖のシャチウォッチングに参加した由紀とマイクが、鯨類の調査・研究をしているガイドの笹森さんから説明を受けている場面が描かれている。自然の素晴らしさや家族の大切さを感じ取ることができるように指導していきたい。これまで人称代名詞の主格、一般動詞の三人称単数現在形について学習してきたが、これらの既習事項を合わせて用いることで、関心のある事柄について伝え合うことができるようにすることを目指し、後に取り組む My Project2 での人物紹介の活動につなげたい。

## 5 本時の達成目標

紹介された人物について、より詳しい情報を得るための質問をすることができる。

## 6 評価場面での生徒の記述例

【表現の能力】

おおむね満足 B	十分満足 A
より詳しい情報を得るための質問をすることができる。	より詳しい情報を得るためにいくつか質問をし、自分の気持ちや考えを付け加えて対話を続けることができる。
(例) A: This is a woman. She is from Osaka. She is very tall. Who is she? B: Does she play any sports? A: Yes she does. She plays tennis well. B: I see. Is she Naomi Osaka? A: That's right. I like her very much. B: I like her too. She is cute.	

## 7 振り返りの場面での生徒の記述例

普段話をしない人とも対話できて楽しかった。質問をその場で考えるのは難しいけど、どんな質問すればいいか話し合ったのでそれを使って話を続けることができた。今まで学んだ表現が役立つことが分かったので、練習をしてもっと話せるようになりたいと思った。

## 8 本時の展開

段階	学習内容	指導上の留意点 評価の観点・方法 ◆教材・教具
導入 10分	1 単元の振り返りをする。  2 学習課題を把握する。	1 ピクチャーカードを使い、本単元で学習した疑問詞や代名詞の用法や既習表現を振り返る。 ◆ピクチャーカード  2 教師が紹介する人が誰かを考えさせる。短い紹介文では誰なのか分からないことから、必要な情報を得るために質問することの必要性に気づかせる。
展開 35分	<p style="text-align: center;">紹介された人物について、必要な情報をたずねよう。</p> <p><b>第1ステップ</b> 3 どんな質問をすれば、紹介された人物が誰なのかが分かるか考える（個人）。 【主体的】課題を解決するために必要な質問を考える。</p> <p><b>第2ステップ</b> 4 (1) 誰のことを紹介しているか、クイズ形式でやりとりする（ペア）。 (2) グループ内で交流する。対話をして気付いたことをワークシートに記入する。 【対話】グループで、どう質問すれば更に必要な情報が得られるか話し合う。</p> <p><b>ラストステップ</b> 5 (1) グループ以外のペアで、1分程度の対話をする（ペア）。 (2) 導入で教師が紹介した人物が誰なのか、対話で用いた英語を使って質問する。</p>	3 習った表現でたずねることができる質問を考える。日本語で書かせ、それを英語でどう表現するか考えさせる。 ◆ワークシート  4 人称代名詞や三単現、疑問詞を活用する機会とする。 ・詳しい情報を得るための質問を考えさせる。 ・質問や応答の仕方について意見を出し合い、クラス全体で共有する。  5 紹介する人と質問する人を決めてやりとりする。短い時間でペアを交代し、多くの人との対話の機会を与え、慣れさせる。  <b>5 【表現の能力】</b> より詳しい情報を得るための質問をすることができる。 A: より詳しい情報を得るためにいくつか質問をし、自分の気持ちや考えを付け加えて対話を続けることができる。 C: 例文をいくつか提示し、その中から質問させる。
終末 5分	6 本時の学習活動を振り返る（個人）。	6 【リフレクション】本時の学習で気付いたことや他の人の意見から参考になったこと、新たに浮かんだ疑問点や今後活かそうなことを振り返らせる。 ◆リフレクションカード

